

白内障手術

単焦点眼内レンズ <健康保険適用>



◆ Clareon

保険適用の単焦点眼内レンズです。メガネの併用が必要となります。
通常のレンズと乱視矯正レンズの2種類があります。乱視矯正レンズは仕入れ価格が高く、精密な術前検査と移植に高度な手術技量を要するため、一般の施設では使用されておりませんが、術後乱視を軽減し良好な裸眼視力を提供できるので、患者さまにとっては非常にメリットの高いレンズです。当院では、「最高の白内障治療を提供する」という診療理念に基き、適応のあるすべての患者さまに乱視矯正レンズを使用しております。

通常の眼内レンズも乱視矯正レンズも自己負担額は同額です

			片眼手術費用	両眼手術費用
70歳以上	3割負担	現役並所得者Ⅰ	60,000 円程度	80,100 円程度
		現役並所得者Ⅱ・Ⅲ	60,000 円程度	110,000 円程度
	2割負担	一般	18,000 円	
	1割負担	非課税世帯等	8,000 円	
70歳未満	3割負担		60,000 円程度	110,000 円程度



<自費診療> 費用は検査・診察・手術・眼内レンズ・薬代を含んだ金額です

世界的な光学器械メーカーであるカールツァイス社製の単焦点眼内レンズ。最高峰の品質と性能を備えます。特に乱視矯正レンズのAT TORBIは保険診療のトーリックレンズでは矯正できない度数をカバーしており、強度の近視や乱視を治すことが可能です。
レンズはドイツ本国からの取り寄せ、もしくは受注生産となるため、手術までに数週間の期間を要することをご了承下さい。

- ◆ CT ASPHINA
- ◆ AT TORBI (乱視矯正用)

片眼 乱視矯正なし	片眼 乱視矯正あり
400,000 円(税込)	450,000 円(税込)

多焦点眼内レンズ <選定療養>

(2025年7月1日改定)



「選定療養」とは、患者さまが多焦点眼内レンズと単焦点眼内レンズの金額の差額分を自己負担することで、健康保険を使って多焦点眼内レンズでの手術を受ける制度です。眼内レンズの仕入値は施設によって異なるため、患者さまの負担額も異なります。手術代金は眼内レンズの差額分とは別に負担率に応じた費用が掛かり、診察の際には検査料、診察料、処方箋料が毎回掛かります。この制度で利用できる眼内レンズは国内認可のレンズに限られます。

PanOptixはアメリカ製の3焦点眼内レンズで、近方から遠方まで連続的に見ることができます。ただしAT LISAや、FINE VISIONに比べると手元の視力が劣り、老眼鏡を必要とする場合もあります。夜間には街灯の回りに光の輪が見えます。Vivityは夜間の光の輪がない利点がありますが、見えるのは遠方から中間距離までで近方は老眼鏡が必要です。

◆ PanOptix/Vivity

片眼 乱視矯正なし	片眼 乱視矯正あり
300,000 円(税込)	350,000 円(税込)

白内障手術

多焦点眼内レンズ <自費診療>

費用は検査・診察・手術・眼内レンズ・薬代を含んだ金額です

◆ AT LISA



ドイツの世界的光学器機メーカーカールツァイス社の多焦点眼内レンズです。

遠方・中間・近方の3つの焦点のバランスに優れています。強度近視・強度乱視にも対応でき、手術後もっとも眼鏡使用頻度の少ないレンズと評価されており、日本ではこのレンズの取り扱い施設は少なく、極めてプレミアムな多焦点レンズです。

移植する眼内レンズの度数は、患者さま個々の検査データをカールツァイス本社に送り、研究所の専門チームが特別なプログラムで計算を行います。

片眼 乱視矯正なし

750,000 円(税込)

片眼 乱視矯正あり

800,000 円(税込)

◆ FINE VISION



術後に眼内レンズが回転しないDouble C Haptics 形状の多焦点眼内レンズです。

遠方・中間・近方の3つの焦点を持ち、遠方から近方まで極めて良好な視力を提供します。日本国内でも近年このレンズを取り扱う施設が増え、当院でも多数の手術実績があります。術後の追跡調査においても良好な結果が得られており、非常にコストパフォーマンスの高い多焦点レンズです。「親水性アクリル素材」

のため、術後に後囊とレンズの間に濁りを生じ、視力低下をきたす「後発白内障」をおこしやすいという欠点があります。

片眼 乱視矯正なし

500,000 円(税込)

片眼 乱視矯正あり

550,000 円(税込)

◆ FINE VISION HP



FINE VISION HPは光学部の設計はそのままに、新たに開発された「疎水性アクリル素材」で作られた多焦点眼内レンズです。術後炎症が少く、後発白内障が生じにくく、術後何十年にもわたりレンズの劣化を生じないのが特徴です。当院ではプレチョップ法を用いて白内障を除去し、独自に開発したインジェクターを用いて、2ミリの創口から直径6ミリのレンズを移植するため、術後乱視のない、良好な裸眼視力を提供する事ができます。このレンズによる当院の臨床成績は医学論文でも世界的に高い評価を受けており、当院ではBVI社より世界に先駆けて特別に乱視矯正用のトーリックレンズが供給されています。トーリックレンズなら、術前の乱視も手術によって治す事ができます。

片眼 乱視矯正なし

750,000 円(税込)

片眼 乱視矯正あり

800,000 円(税込)

プレミアム単焦点レンズ <自費診療>

◆ SERENITY

費用は検査・診察・手術・眼内レンズ・薬代を含んだ金額です



単焦点眼内レンズですが、独自の光学設計により遠方のみならず中間距離まで良好な視力が得られる次世代の眼内レンズです。新聞等の近見には老眼鏡が必要ですが、多焦点眼内レンズのような回折リングを持たないため、夜間のハロー・グレアの問題がなく、鮮明な夜間視力が得られます。緑内障・加齢黄斑変性症・糖尿病網膜症などの眼底病変により多焦点眼内レンズが適応外の方にも使用可能です。従来のISOPUREに比べて、眼内安定性に優れた設計で、当院には世界に先駆けて特別供給されています。

片眼 乱視矯正なし

500,000 円(税込)

片眼 乱視矯正あり

550,000 円(税込)